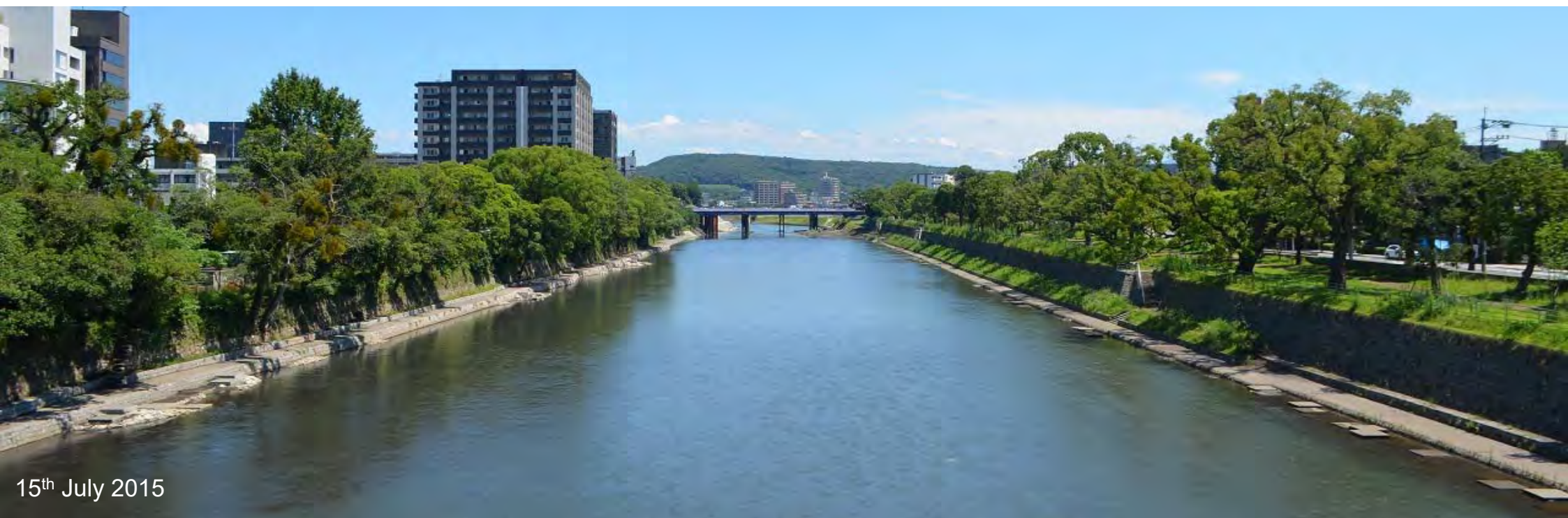


1st Aug, 2006



魅力ある水辺空間の再生に関するシンポジウム
白川・緑の区間のデザイン

160622 熊本大学 星野裕司



15th July 2015

Mt. Tatsuta

Kumamoto
University

Kumamoto
Castel

Shirakawa
River

Image © 2013 DigitalGlobe

Google

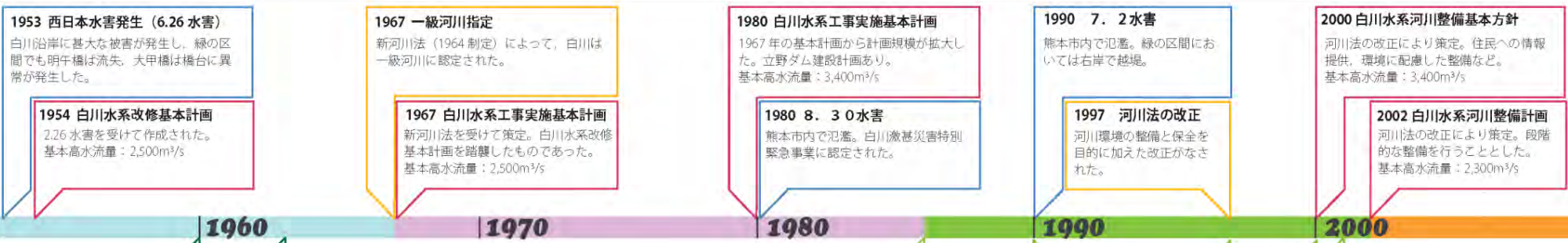
画像取得日: 2013/4/15 32° 48'26.95" N 130° 43'04.13" E 標高 18 m 高度



緑の
水害・法改正・計画
の区間にかかわる

緑の
経緯・改修計画・委員会
の区間の

四つの
(第一期)時代区分
(第四期)



1961 白川右岸に植樹開始
1963 鶴田公園完成

1961 年に当時の自治会長であった鶴田氏は、市民の協力のもと、荒地となっていた堤防用地の整地作業に取り組み、1963 年に熊本市がベンチ等を設置し、右岸に鶴田公園を完成させた。それ以降も鶴田氏は講演の整地をし続け、桜などの植樹を行った。

熊田 1968 年の記事、撮影
熊田 1975 年の記事、撮影
熊田 1985 年の記事、撮影

1986 改修計画 I 発表

建設省が発表した計画 I では、防災上の整備を行うために、緑の区間の樹木をすべて伐採する内容になっていた。そのため、熊本県、市、学識者、などから反対が起こり、防災と景観の両立した整備を訴えた。

561.11.18 西日本新聞
561.11.20 熊本日日新聞

1990 改修計画 II 発表
改修計画 I の反対を受けて、左岸のみ拡幅、川底の掘削等を明示したが住民が反対。

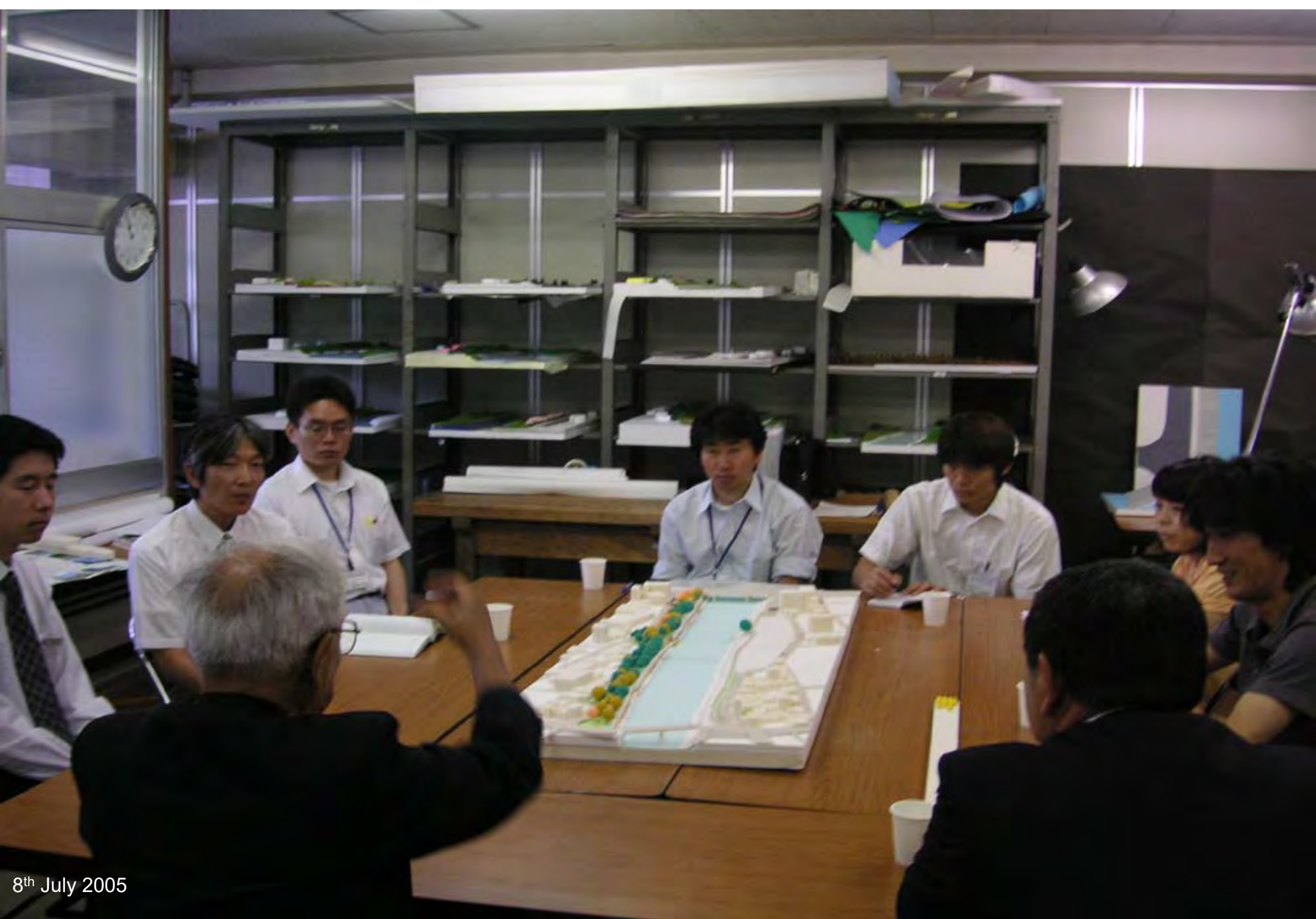
1997 改修計画 III 発表
拡幅せずに川岸から左岸約 30m、右岸約 10m 後方に 2m の築堤することを明示したが、またしても住民が反対。

1990 改修計画 IV 発表
2001 改修計画 V 発表
左岸の拡幅、約 1m の築堤、右岸は築堤のみ、樹木は両岸で移植を行い、樹木数を変化させないこととした。



第一期	第二期	第三期	第四期
1953 年の西日本水害で、緑の区間上流の明午橋が流失した。改築の際に明午橋から大甲橋間右岸が資材置き場として利用されていた。完成後、荒地となっていたが、当時自治会長であった鶴田綿平氏が市民の協力のもと右岸堤防用地に桜などを植樹した。右岸には既存の老木が植わっており、両岸に樹木が繁る緑の区間の原型ができた。	1975 年には鶴田公園の桜の植樹は 200 本を数え、「花のトンネル」と表現されてお花見の場所として市民に利用されていた。大甲橋からの上流への眺めは、「森の都くまもと」のモデルと評されていた。一方で、水面下では緑の区間の改修に関する議論が行われていた。	建設省は緑の区間の改修計画を検討するために有識者らによる委員会を設置し、1990 年に改修計画 II を発表した。樹木を極力伐採しないこと、左岸を掘削して堤防の高さを抑えること、景観に配慮して護岸を石積みにするなどが明示された。しかし、地域住民からの反対の声が上がり、1997 年の改修計画 III も反対され、実施されなかった。住民の声が活かされておらず、住民との対話による計画づくりが望まれた。	2002 年 8 月に白川流域住民委員会の下部組織として、「白川市街部景観・親水検討会」が発足し、改修計画について引継ぎ検討を行った。具体的な整備を検討する植栽検討ワーキング、施設設計検討ワーキングという 2 つのグループが設置され、改修計画に基づき、緑の区間の整備が行われた。







9th Mar. 2007





1/100 scale model



1/30 scale model



1/1 scale model



⑦大甲橋下の連続性

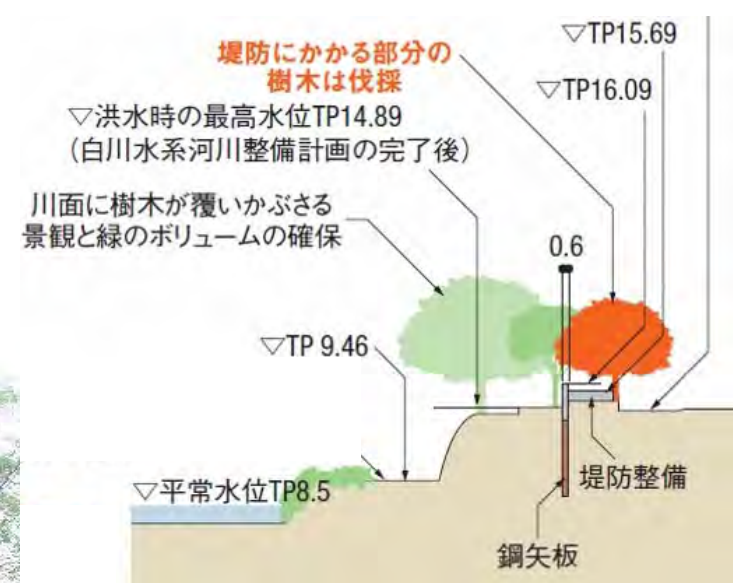
⑧アクセス性が向上した橋詰広場

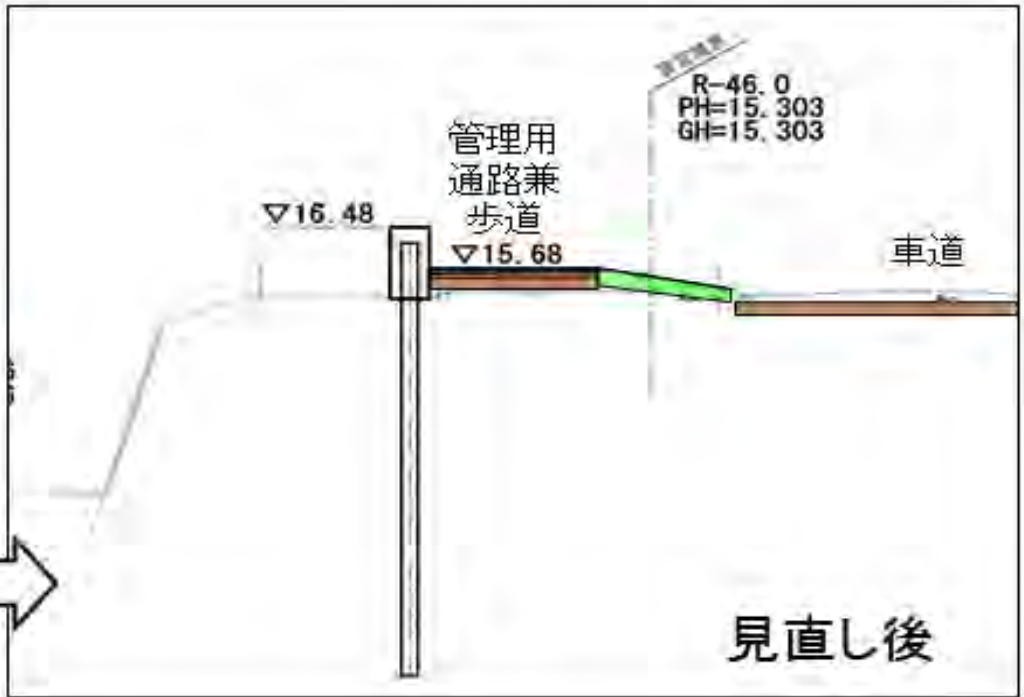
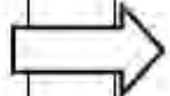
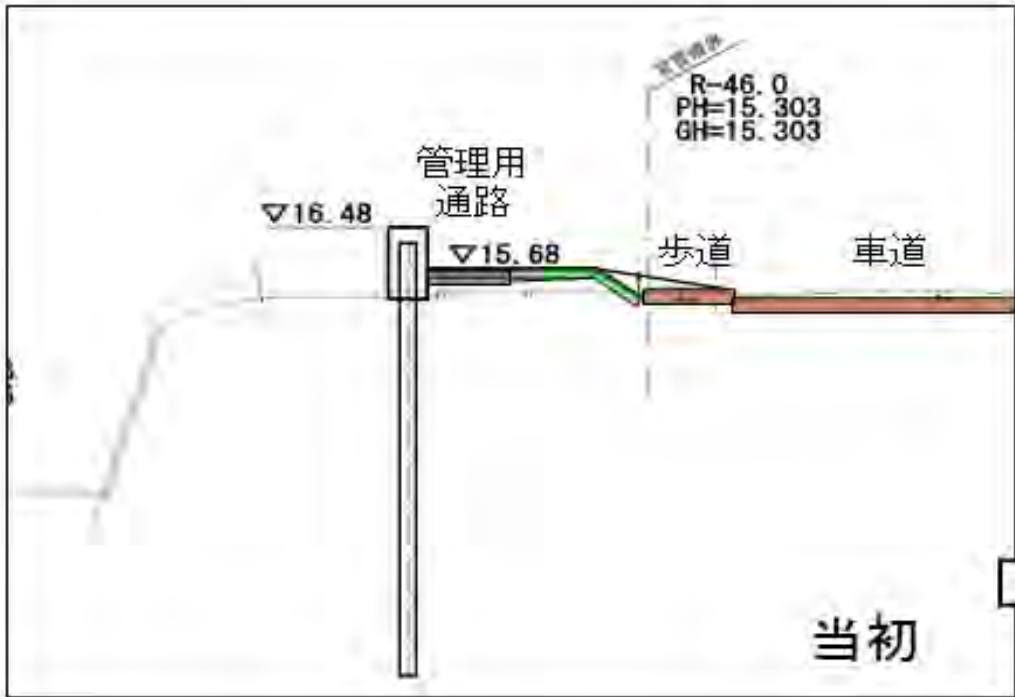
⑨左岸水際

⑩小学校に開いた緑地

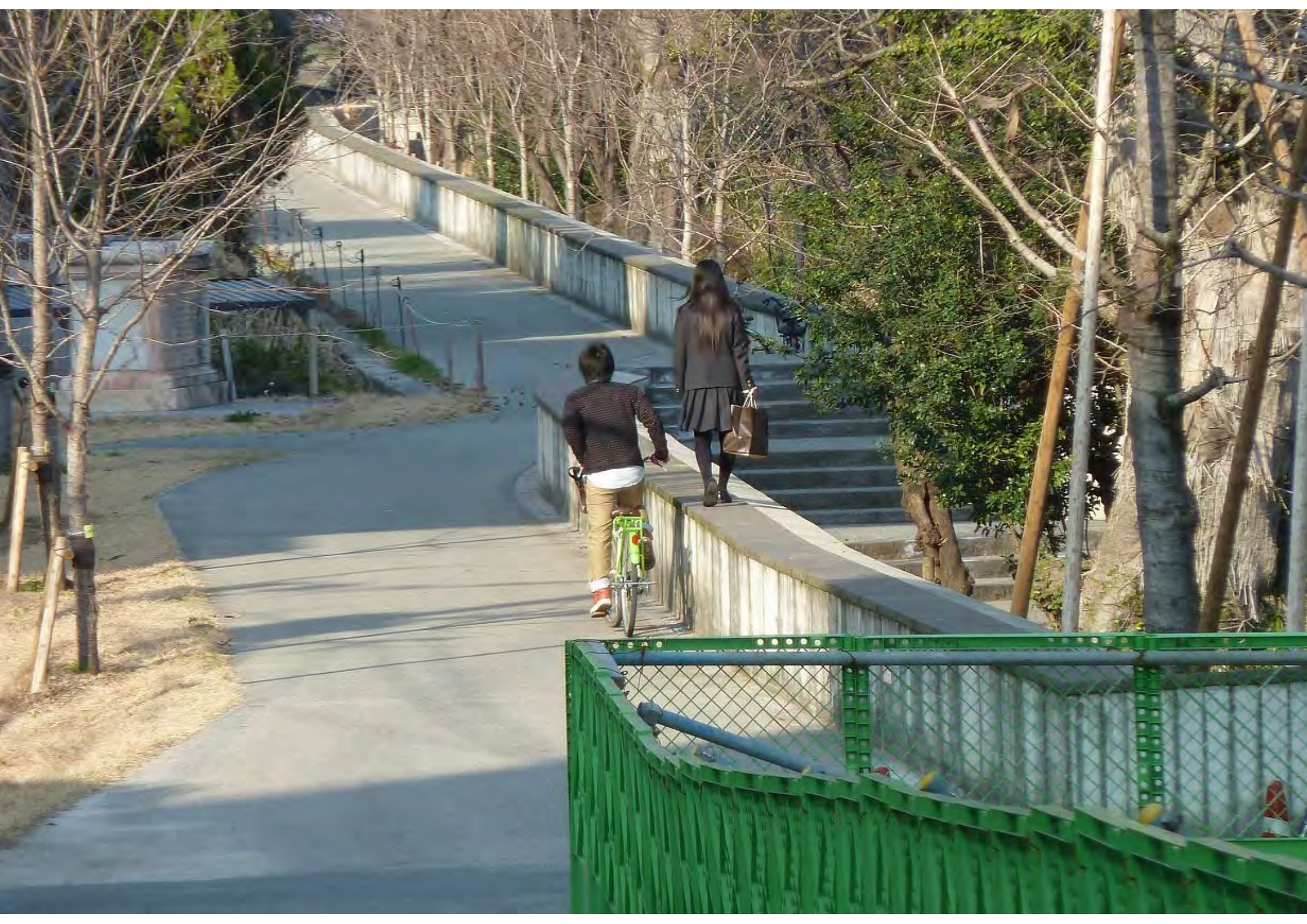
⑪街に開いた緑地

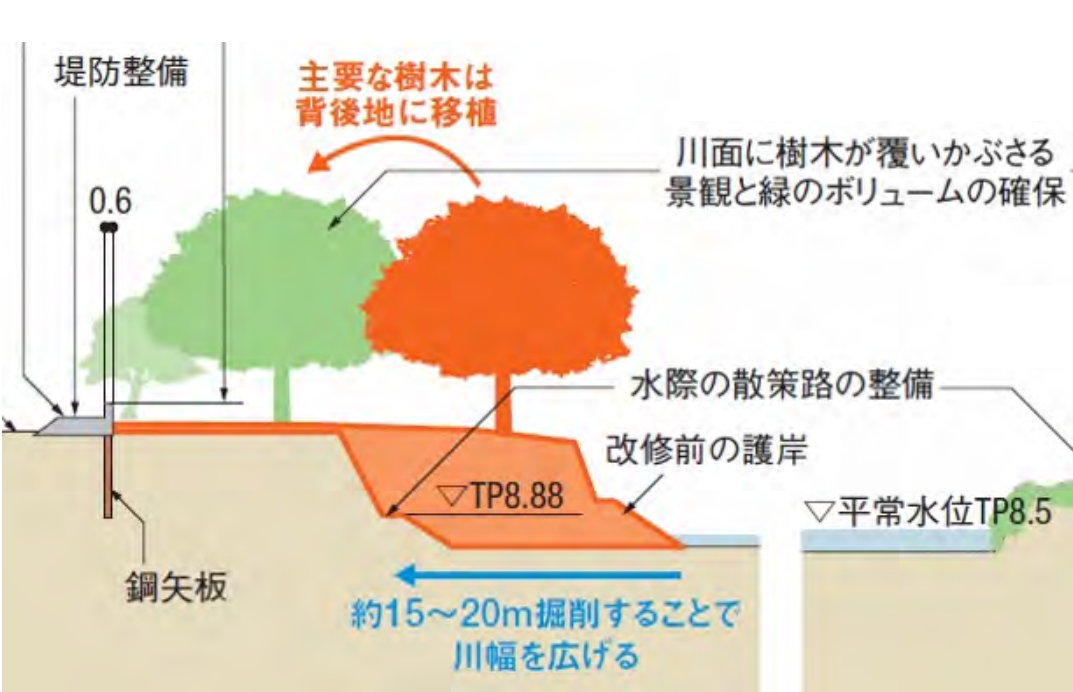
⑫住宅地の落ち着いた広場







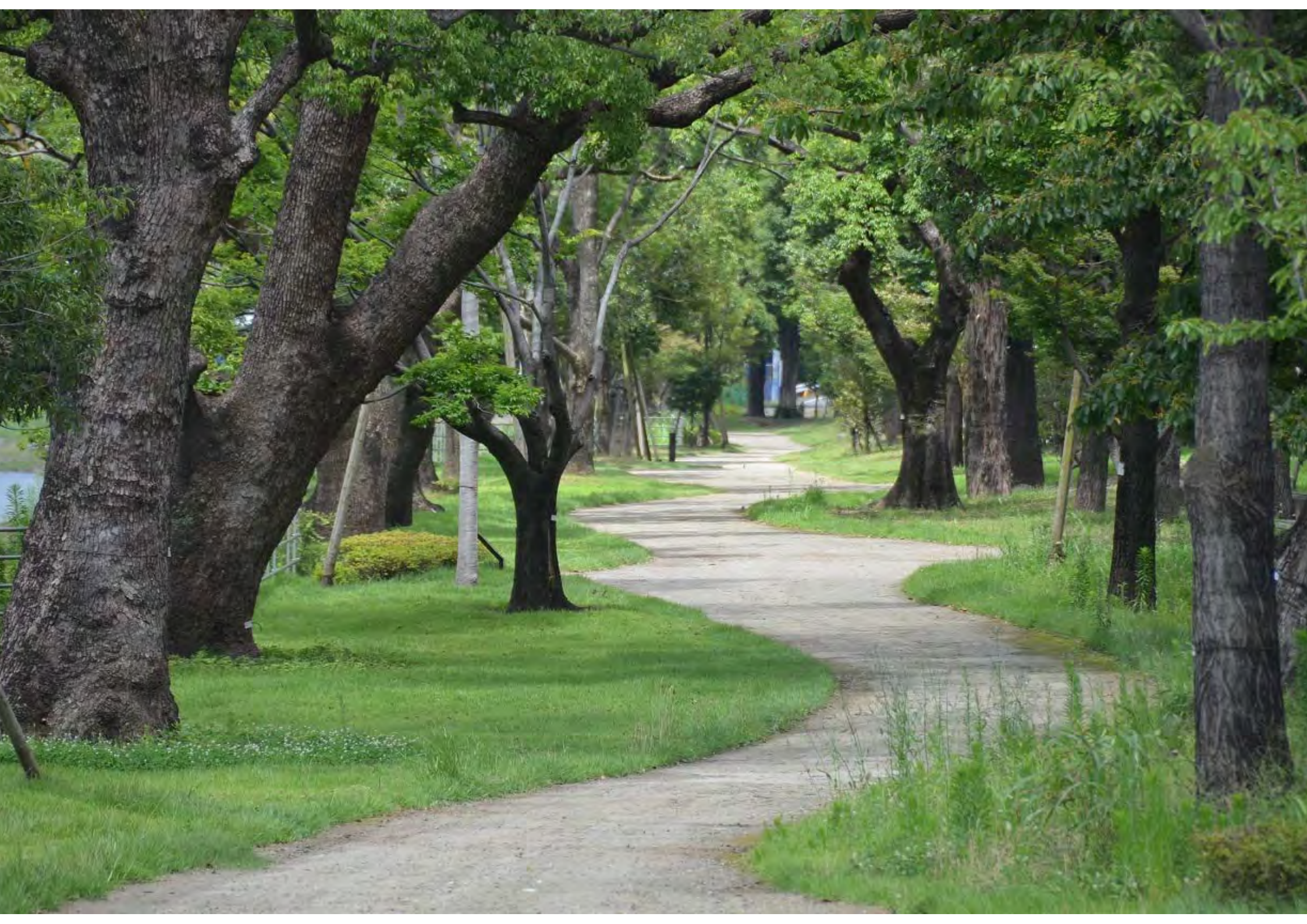


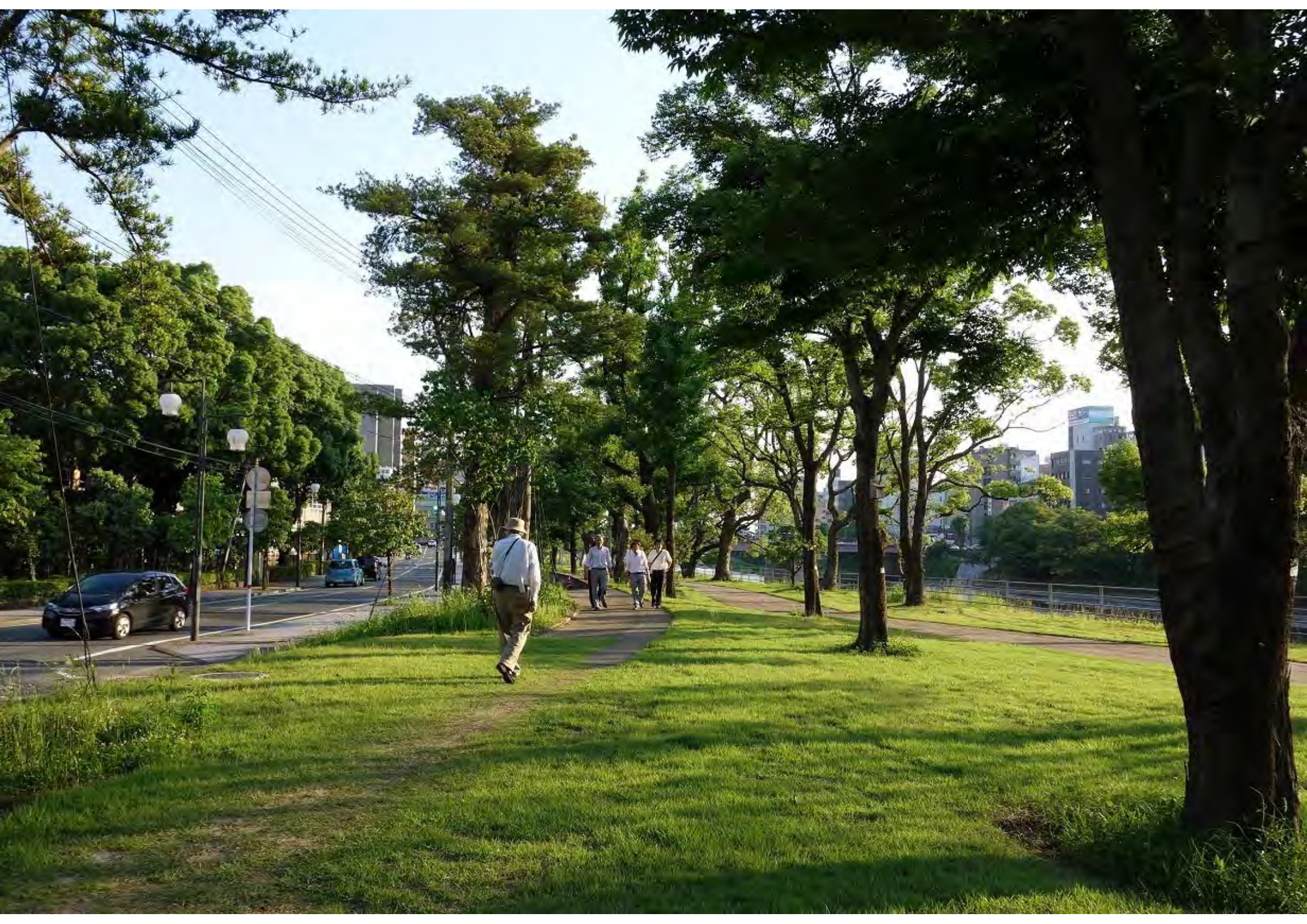


根回しの様子 12th March 2007

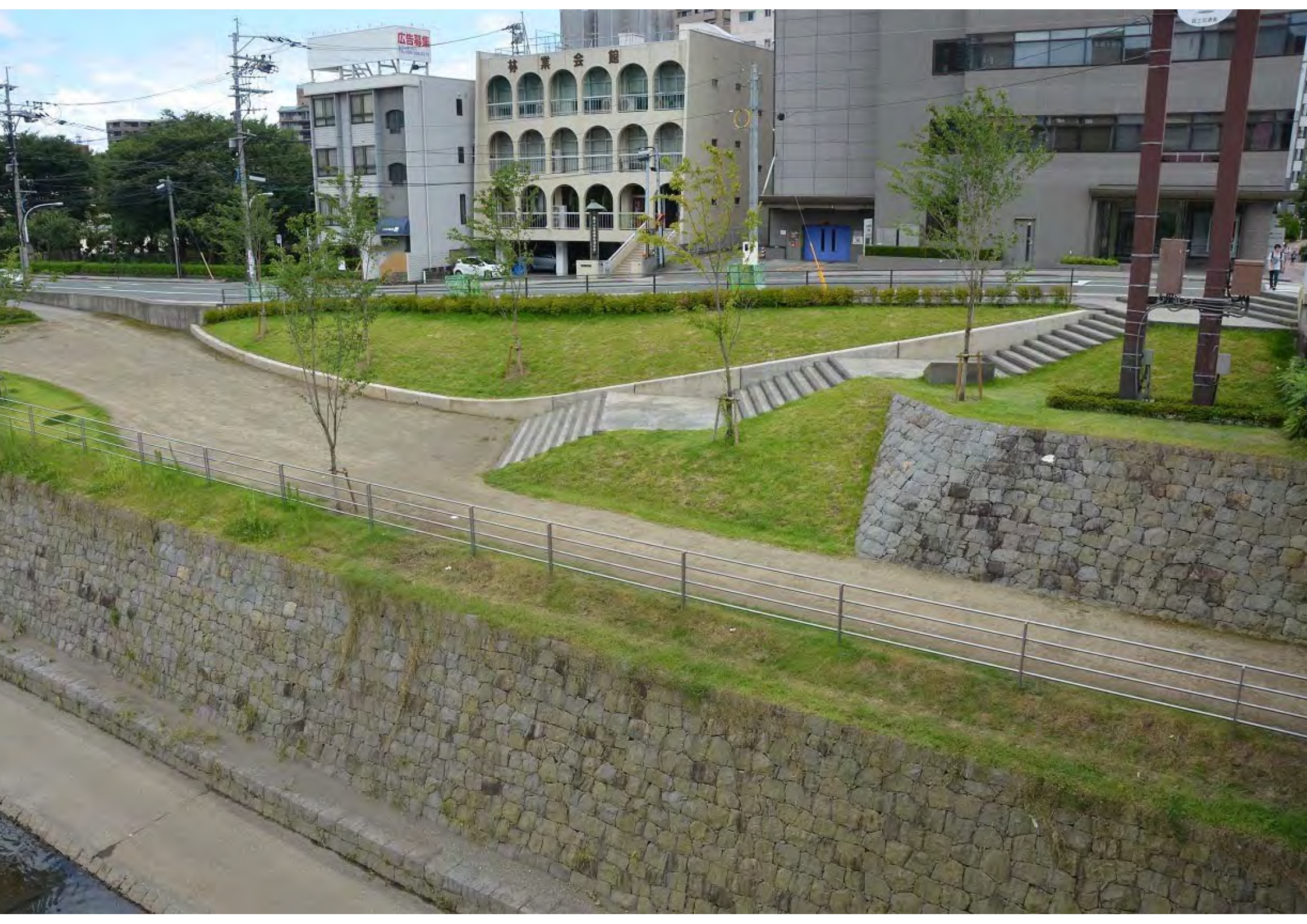
























白川から始まる新しいミズベの未来 ~まちとつながるオープンリバー~

ミズベリング白川74

Shirakawa

入場無料
おんあで白川心を満喫しよう！
参加者募集！
ミズベリング熊本
白川会館
【日時】
5月16日(土)14:00~
【場所】
ホテルメルパルク熊本

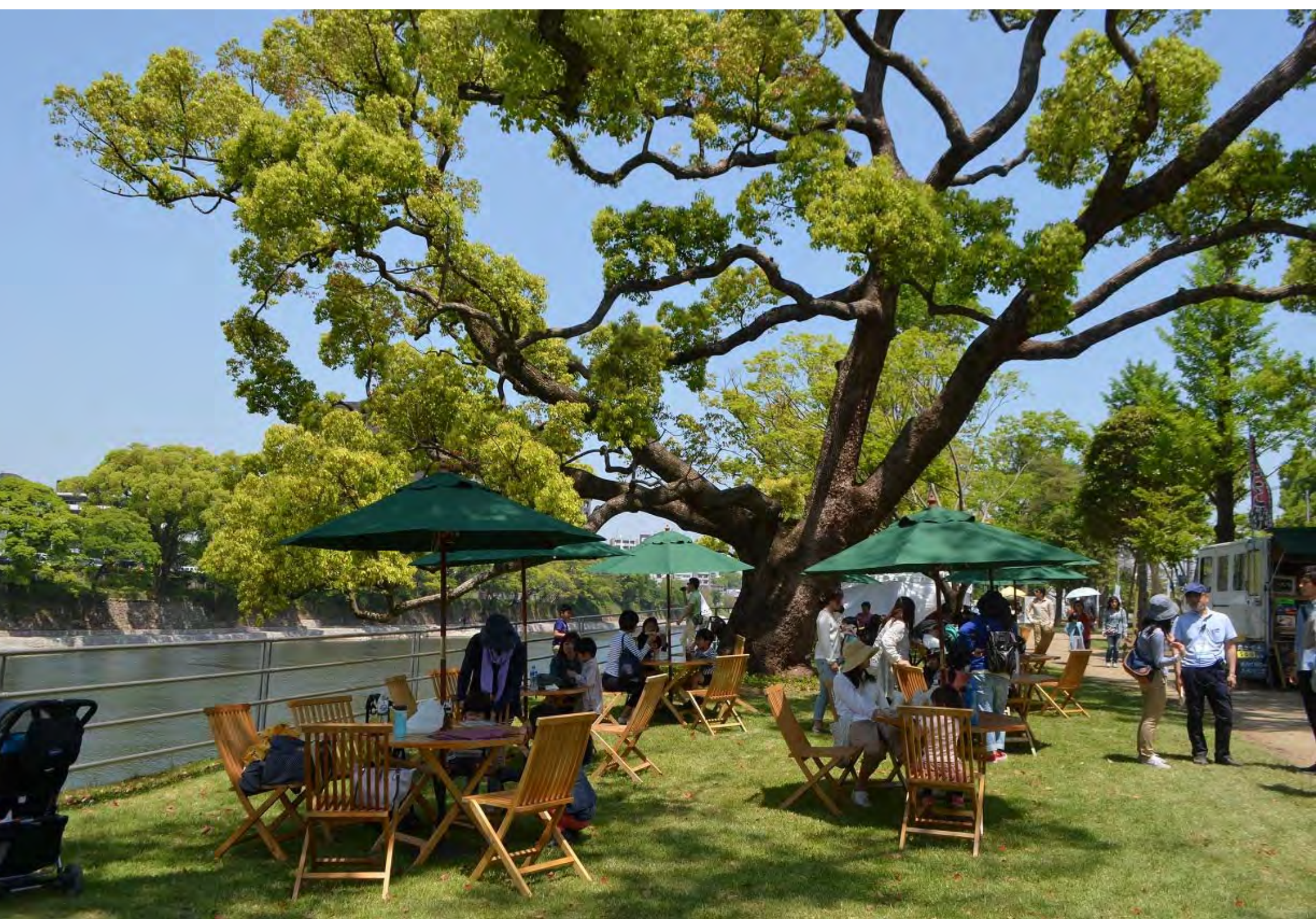
市民の皆さんと一緒に考えて整備を進めてきた大甲橋から明午橋間
「通称：緑の区間」が完成します。この場所は「緑の都くまもと」を代表する
水と緑の風景として、市民の皆さんに親しまれてきました。ミズベリング
白川74では、白川の魅力を最大限に引き出すため、水辺の演奏会、
オープンカフェ、マルシェ等の社会実験を行います。みなさんで、
「かわ」と「まち」が一体となった「新しい白川の水辺」を体感してみませんか。
ミズベリング (MIZBERING) とは、「水辺+RING (輪)」、「水辺+R (リノベーション) +
ING (進行形)」の造語です。



■主催/ミズベリング白川74実行委員会(熊本大学、熊本青年会館所、城東校区1町内自治会、磯台校区17町内自治会、白川校区3町内自治会、白川校区
4町内自治会、熊本市、国土交通省熊本河川国道事務所)
■イベントミズベリング熊本白川会館のお問い合わせ先/国土交通省熊本河川国道事務所調査第一課 TEL.096-382-1111 HP: <http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/>

※駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。熊本市電をご利用の場合は「水道町電停」「九品寺交差点電停」より徒歩約5分。









平成28年度 国語科授業発表会
発表番号 23 発表者 山本 047











防災か景観か

Extraordinary

1/365



Ordinary

364/365

自然災害から
暮らしを守りたい

毎日の暮らしを
快適なものにしたい

しかし…
完全にはムリ

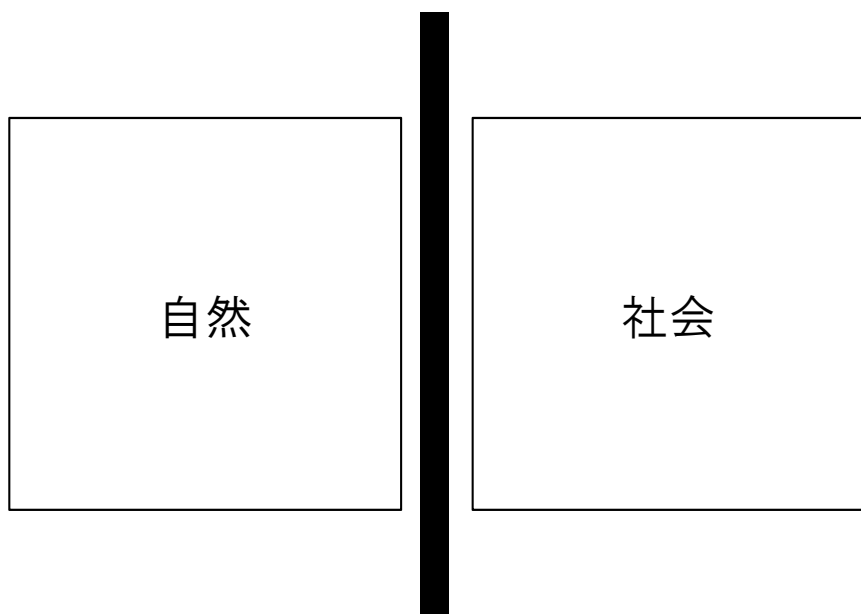
しかし…
災害は怖い



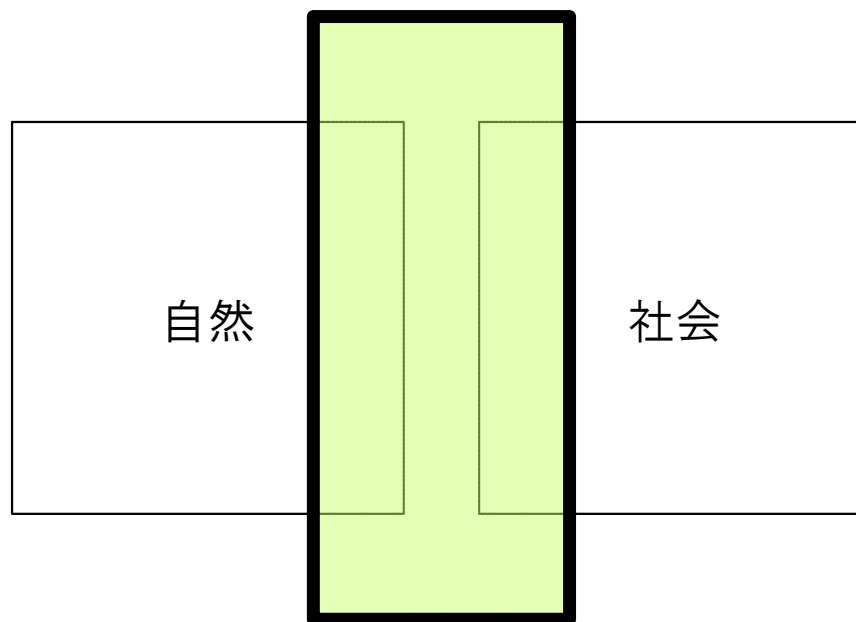
12th July 2012



河川改修の役割

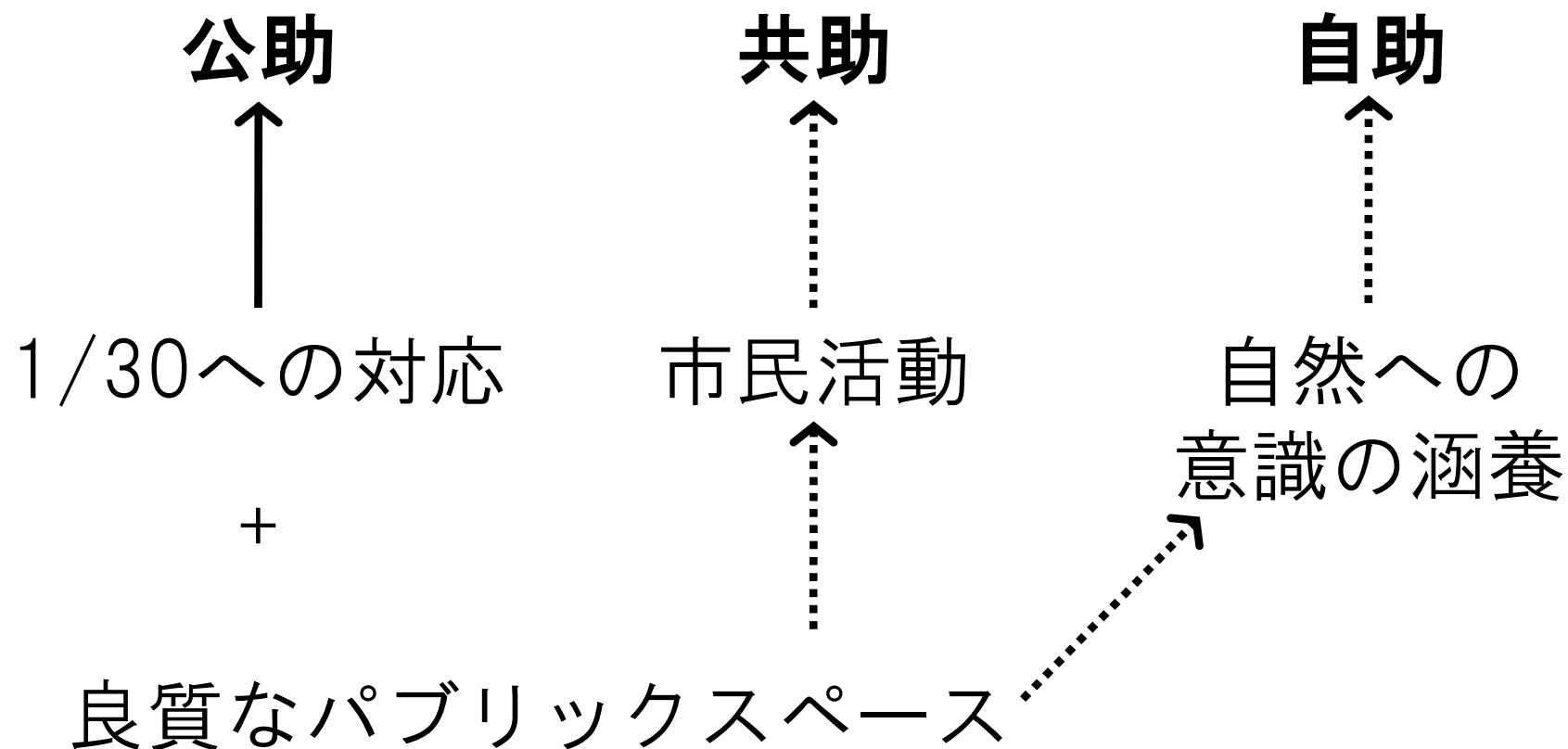


従来の堤防

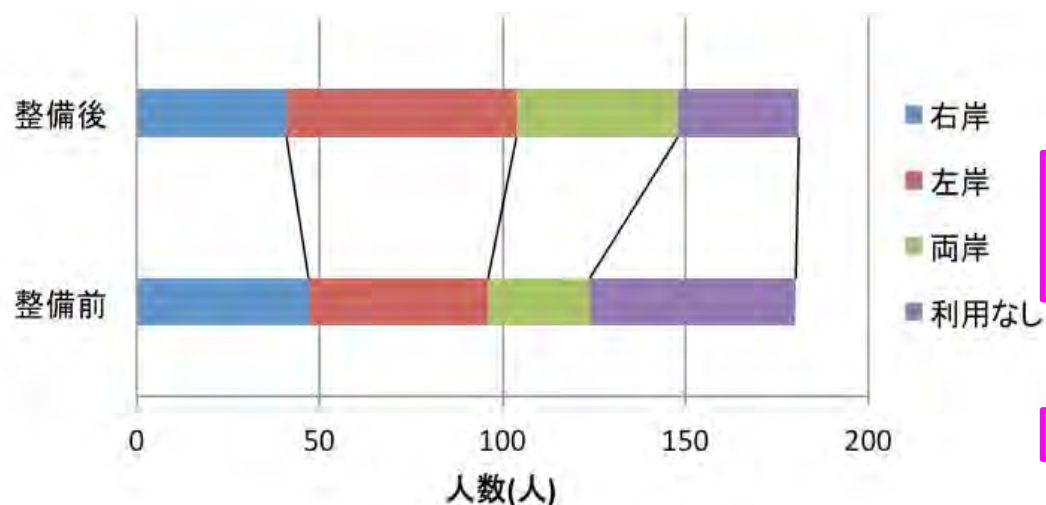


緑の区間

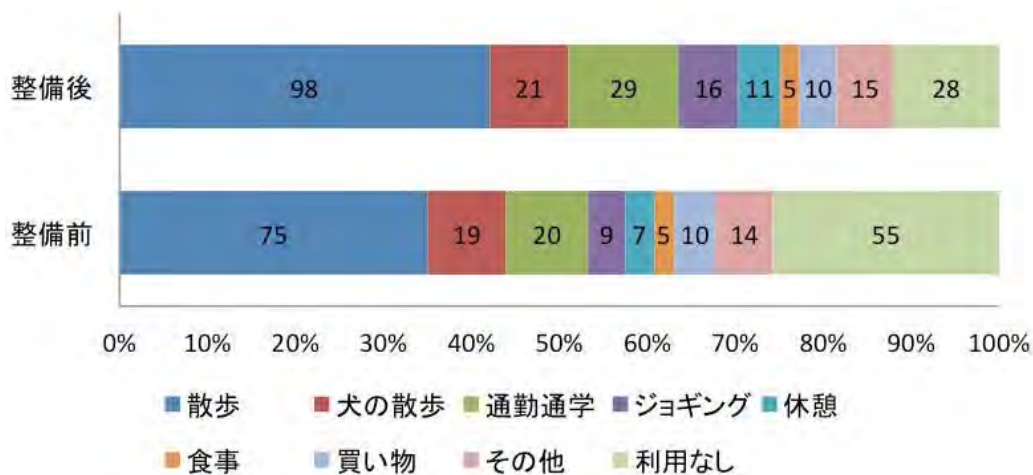
防災上の意義



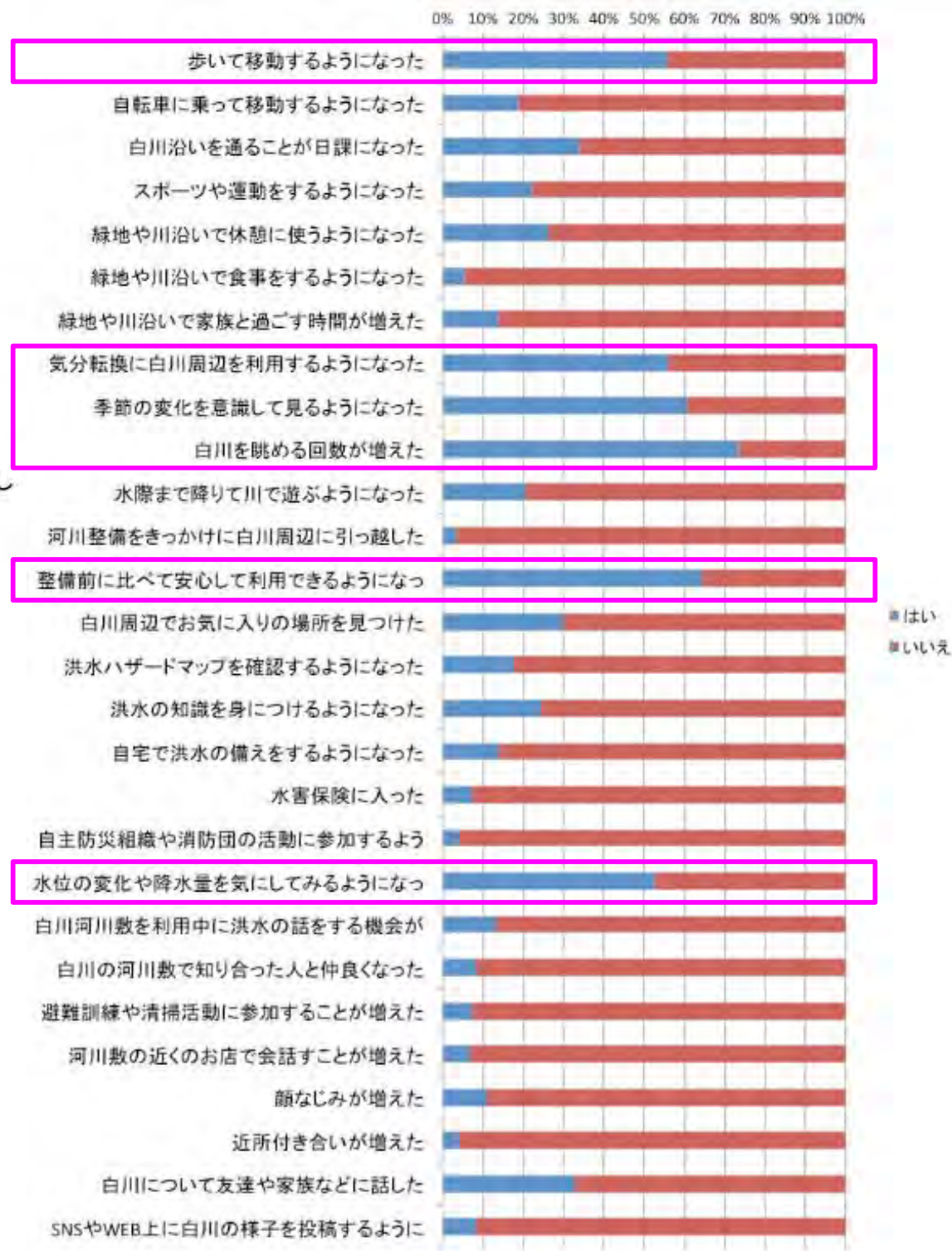
周辺住民へのアンケート調査



整備前後での利用場所の変化



整備前後での利用目的の変化





24 April, 2016 おたがいさま食堂 in 白川・緑の区間

